



## 熊 本県阿蘇市へ震災の寄付

8月12日(金)、一般社団法人 人と事業の支援協会 東 潤一理事長より熊本地震への寄付をいただき、本市より株式会社スターゲイトホテルをつうじて熊本地震によって被災した熊本県阿蘇市へ寄付金を引き渡しました。



このマークがついている画像は、スマートフォンなどのアプリをインストールすることで、動画も見るすることができます。  
※動画を見るには、下記のQRコードより市のホームページ (<http://www.city.izumisano.lg.jp/shiho/AR.html>) にアクセスし、AR (拡張現実) 技術を使った無料アプリをダウンロードしてください。



## ふ るさと納税近畿サミット in 泉佐野市が開催

9月16日(金)、スターゲイトホテル関西エアポートにおいて、「ふるさと納税近畿サミットin泉佐野市」が開催され、先進自治体の取組の発表やパネルディスカッションなどが行われました。また、ふるさと納税の本市の新たな取組も発表されました。



## 泉 佐野駅に「泉佐野てくてくマップ」が完成

泉佐野観光ボランティア協会による市内の観光地マップ「泉佐野てくてくマップ」が南海「泉佐野」駅コンコースに設置されました。会員有志の手づくりで約一年がかりの力作です。QRコードで泉佐野観光協会のホームページにもアクセスできます。市内散策時にぜひご利用ください。



## 和 紙人形を市役所に寄贈

9月21日(水)、和紙人形作家の山中セツ子さんと生徒のみなさんによる、だんじりをモチーフにした創作和紙人形を市役所に寄贈していただきました。今にも動き出しそうにいきいきとした人形で、祭りのにぎわいがかわいらしく表現されており、秘書課の応接室に飾られています。

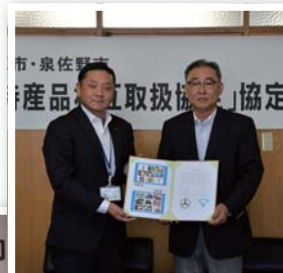
## 特産品相互取扱協定を進めています

本市では、「泉佐野市まち・ひと・しごと総合戦略」の一環として、昨年度から市内で収穫された地場野菜や魚介類を活用したオリジナルレシピを創出し、地場製品のブランド化と6次産業化の促進を行う取組を行っています。さらに、農業フェアなどのイベントでの地場特産品などの連携や、各地の地場特産品をふるさと納税のお礼品にするなどの強化を図っています。

このような環境のもと、本市では、お互いの特産品を相互に取り扱い、全国に共同で情報発信することを目的として、他市と「特産品相互取扱協定」の締結をすすめています。



▲10月16日(日)  
高知県宿毛市



▲8月26日(金)  
大阪府柏原市

◀10月13日(木)  
兵庫県淡路市



**ザ・まつり in Izumisanoが開催**

9月25日(日)、泉佐野センタービル周辺において、今年は記念すべき第20回目の「ザ・まつり in Izumisano」が開催されました。今年、松原町の子どもだんじりも登場しました。各町の勇壮なやりまわしで、たくさんのお見物客も盛り上がっていました。



**災害対策用毛布を寄贈いただきました**

樫井西町の有志の方々や企業の方々から泉佐野市に災害対策用として毛布を寄贈していただき、9月24日(土)に南部市民交流センターで開催された樫井西町会「敬老の集い」の中で感謝状を贈呈させていただきました。寄贈いただいた災害対策用の毛布は南部市民交流センターに備蓄し、大規模な災害が発生したときのために備えてまいります。



**高度がん医療拠点施設がオープン**

りんくうタウンに10月からオープンの高度がん医療拠点施設「メディカルりんくうポート」のオープニングセレモニーが行われました。医療特区の中核となるこの施設により、一層りんくうタウンが活性化することが期待されています。



**体育の日にスポーツフェスタ泉佐野が開催**

体育の日である10月10日(祝)、J:COM末広体育館(市民総合体育館)において、スポーツフェスタ泉佐野実行委員会主催の「第4回 スポーツフェスタ泉佐野」が開催され、各種スポーツのデモンストレーションや体験が行われました。オープニングでは日本体育大学に制作していただいた「いずみさの体操」もお披露目されました。

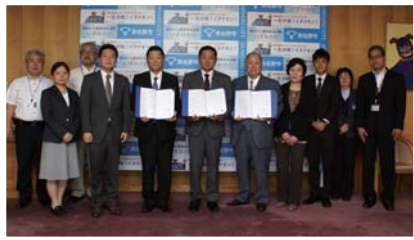


**各種防災協定を締結しました**

泉佐野市では大規模災害等に備え、「泉佐野市地域防災計画」に基づき、災害発生時に適切な対応ができるよう下記の協定を締結しました。

**【災害時における遺体の安置・搬送等の協力に関する協定】**

大規模災害等により、不幸にして多数の犠牲者が発生した場合ご遺体の安置・搬送等を円滑に実施する体制を構築することを目的として、大阪葬祭事業協同組合および株式会社吉と締結しました。



**【災害時における畳の提供に関する協定】**

大規模な災害が発生した場合に、開設する避難所に可能な範囲内で畳を提供いただけるもので、避難所の硬質な床面へクッション性を有する畳を敷設することにより避難所の良好な生活環境の確保、避難者に対する支援体制の充実を図ることを目的として、「5日で5000枚の約束」プロジェクト実行委員会と締結しました。



**女性起業家チャレンジショップがオープン**

国の「地方創生加速化交付金」を活用して起業を目指す女性などをターゲットに出店者を募集し、今回商店街の空き店舗を利用したチャレンジショップをオープンしました。10月12日(火)のオープンイベントには、千代松市長やイヌナキンも駆けつけました。

